

令和3年 2月21日開講 行動援護従業者養成研修
 富雄駅前教室 (日) クラス

区分	日時	科目	目的	内容	時間数	
講義 10時間	2月21日 (日)	9:00～ 9:30	開講式	正しく学習するために 受講の流れを理解する	研修の進め方・受講に関する注意点・テキスト配布	0.5
		9:30～ 12:00	強度行動障害がある者の基本理解に関する講義	強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ	強度行動障害とは 本研修の対象となる行動障害 強度行動障害の定義 強度行動障害支援の歴史的な流れ 知的障害／自閉症／精神障害 とは 行動障害と家族の生活と理解 危機管理・緊急時の対応	2.5
				強度行動障害と医療 強度行動障害と精神科の診断 強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携		
		12:30～ 16:00	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。	強度行動障害と制度 (例) 支援区分と行動関連項目・重度訪問介護 対象拡大・発達障害者支援体制整備・強度行動 障害支援者養成研修 構造化の考え方 構造化の基本と手法 構造化に基づく支援のアイデア	3.5
				支援の基本的な 枠組みと記録 支援の基本的な枠組み 支援の基本的なプロセス アセスメント票と支援の手順書の理解 記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ		
				虐待防止と身体拘束 虐待防止法と身体拘束について 強度行動障害と虐待		
		16:00～ 18:00	強度行動障害のある者へのチーム支援	チーム支援についての 理解を深める。	強度行動障害支援 の原則 チームによる支援の重要性 支援の6つの原則 地域で強度行動障害の人を支える	2
		9:00～ 11:00	強度行動障害と生活の組み立て	生活の様々な場面での 支援について学ぶ	行動障害のある人の 生活と支援の実際 行動障害のある人の家族の想い 日中活動場面における支援 夕方から朝にかけての支援 外出場面における支援	2
		11:00～ 13:30	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。	固有の コミュニケーション 情報の入手とその方法 記録のまとめ方と情報共有 様々なコミュニケーション方法	2.5
		14:00～ 15:00	基本的な情報収集と記録等の共有		情報収集とチーム プレイの基本 コミュニケーションの理解と表出 グループ討議 / まとめ	1
15:00～ 17:30	行動障害の背景にある特性の理解	行動障害の背景に あるもの 感覚・知覚の特異性と障害特性 行動障害を理解する氷山モデル	2.5			
演習 14時間	3月7日 (日)	9:00～ 10:00	記録に基づく支援の評価	記録の収集と分析 ・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ	記録の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正	1
		10:00～ 12:30	障害特性の理解とアセスメント	障害特性の アセスメント 障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する	2.5	
		13:00～ 14:00	危機対応と虐待防止	危機対応と虐待防止について 理解を深める	危機対応と虐待防止 危機対応の方法 虐待防止と身体拘束	1
		14:00～ 17:30	環境調整による強度行動障害の支援	・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ	構造化の 考え方と方法 強みや好みを活かす視点 構造化の考え方 構造化の方法	3.5
		17:30～ 18:00	閉講式	研修を振り返り、 学習内容を再確認する	研修のまとめ・修了証書授与	0.5
					25	